
アニメキャラ学園

zoer

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アニメキャラ学園

【Nコード】

N9653Z

【作者名】

zoer

【あらすじ】

ここはアニメキャラが通う学園通称アニメキャラ学園この学園は小学から大学まである学園なのだこのイベントはとても大盛り上がりという学園なのだそして今ここに一人の青年が来たこの青年はこの学園にどんな風をおこすのか？

第二話「学園生活」第三話「部活」第四話「零の過去」第五話「作者の決意」

ZOER「初投稿なので気軽にみてくださいまたこの物語は私作者も出ているのであしからず

なおこの作品はいろんなアニメキャラを出す予定ですまあコメとか感想とかいただけたら幸いですではゆっくりしていつってください

第二話「学園生活」第三話「部活」第四話「零の過去」第五話「作者の決意」

第一話「謎の転校生」その日アニキャラ学園に一人の青年がいた「行くか」青年は門をくぐった

ヒソヒソ・男子「なああれ誰だ？」女子「なんか怖い」青年は目立っていたそれもそのはずだ青年の服装は

全身黒のコートで覆われて顔もまるで忍者のようなマスクをして顔が見えてないのだ「・・・」青年は

特に気にすることなく職員室に向かった・先「君が転校生君？」

はい「先「じゃ今から教室に行くからねーえーと」零「月影零です」

先「ああ零君ねよしじゃー行きましよう」零「はい」そして・・・ガラ

先「はい席についてー」ざわざわ・先「はいじゃーHR始める前に今日からみんなと勉強する転校生がいます」がやがや・先「はいはい静かにーじゃー紹介するわね入ってきてー」零「はい」ガラ

先「はいじゃー自己紹介して」零「月影零といいますよろしくおねがいします」パチパチ 先「はいじゃー月影君の席は窓側の席だから」零「はい」タツタツ 先「それじゃ1時限目は質問コーナーにするからねーそして・ガヤガヤ

女子「どこから来たの？」零「北海道から」男子「前の学校はどこだったんだ？」零「いえ学校は行ったことがないのでここが初めてです」女子「いくつなんですか？」零「17歳です」女子「趣味は何ですか？」零「主に家事全般あとは小説とか音楽とかです」その後も質問は続いたそして・・・放課後・零「ふう」？「よ!!!」

零「はい？」一夏「俺織斑一夏ってんだよろしく」零「月影零っていいますよろしく織斑君」一夏「一夏でいいぜ」零「わかりました一夏」一夏「ああよろしく零!!」零「はい」「おーい一夏」一夏「ん？どうした？当麻」当麻「どうしたって・・・あれ」一夏「ああやべサンキュー当麻またな零」零「はい」当麻

「やれやれあ！お前転校生だる俺上条当麻ってゆうんだよろしくな」
零「つきかけせる月影零ですよろしく上条」当麻「当麻でいいぜ」零「わかりました」当麻「じゃー俺も帰るなじゃーまた明日な零」零「はいさようなら」タツタツタツ・零「ふうー」「おーい零ー」零「あー！！作者さん」タツタツタツ ガバ 作者「おーお疲れさん零ー」ナデナデ・零「えへへ」ここで言っておく零はいわゆる男の娘なのだだからかわいいのだ作者「よしじゃー帰るか零」零「うん！！」タツタツタツ作者「なあ零」零「ん？」作「学園はどうだった？」零「とてもいいとこだったよー作者さんの教えてもらったとおり」作「そうかもう少ししたら俺も教師として行くからなー」零「ほんとー！！」作「ああ」零「わーい！！」作「さあ帰って飯にするか」零「うん！！」そしてふたりは帰っていくタツタツタツ 作「（零これで少しは心を開いてくれるといいな）」作者の脳裏にはある事件が呼び出されている作「（もうあんなことは二度と起こさせない零は俺が守るからな養子の父親として）」零「作者さん？」作「あ・あぁどうした？」零「さっきから呼んでるのにー」作「はは悪い悪い少し考え事をな」零「考え事？」作「いや何でもないぜさて帰るか」零「うん！！」作者がいつていたあの事件とは零の過去にはとんな秘密があるのだろうか？続くー

第二話「学園生活」第三話「部活」第四話「零の過去」第五話「作者の決意」

ZOER「どうもこんにちは作者ことZOERですこの作品を見てくれて感謝ですまあコメとか感想なのいただけたら幸いです」タツ
タツタツ 零「作者さん」ボフZOER「おどうした零？」零
「ねえねえどうして作者さんの名前僕とおなじなの？」ZOER「
ああ単純にすきだからねーまあこれから読者さんに決めてもらおう
かなっと思っっているんだ」零「へーそなんだー」ZOER「ああ
だから今は仮かなー」零「そうなんだーえへ楽しみーあ・僕晩御
飯作ってくるねー」タツタツタツ ZOER「やれやれとゆうわけ
で読者の皆様主人公の名前も決めてくれるとありがたいですあとコ
メとか感想もいただけたら幸いですとゆうかけでよろしくおねがい
しますではまたー次回もゆくりしていつてね」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9653z/>

アニキャラ学園

2011年12月30日01時48分発行